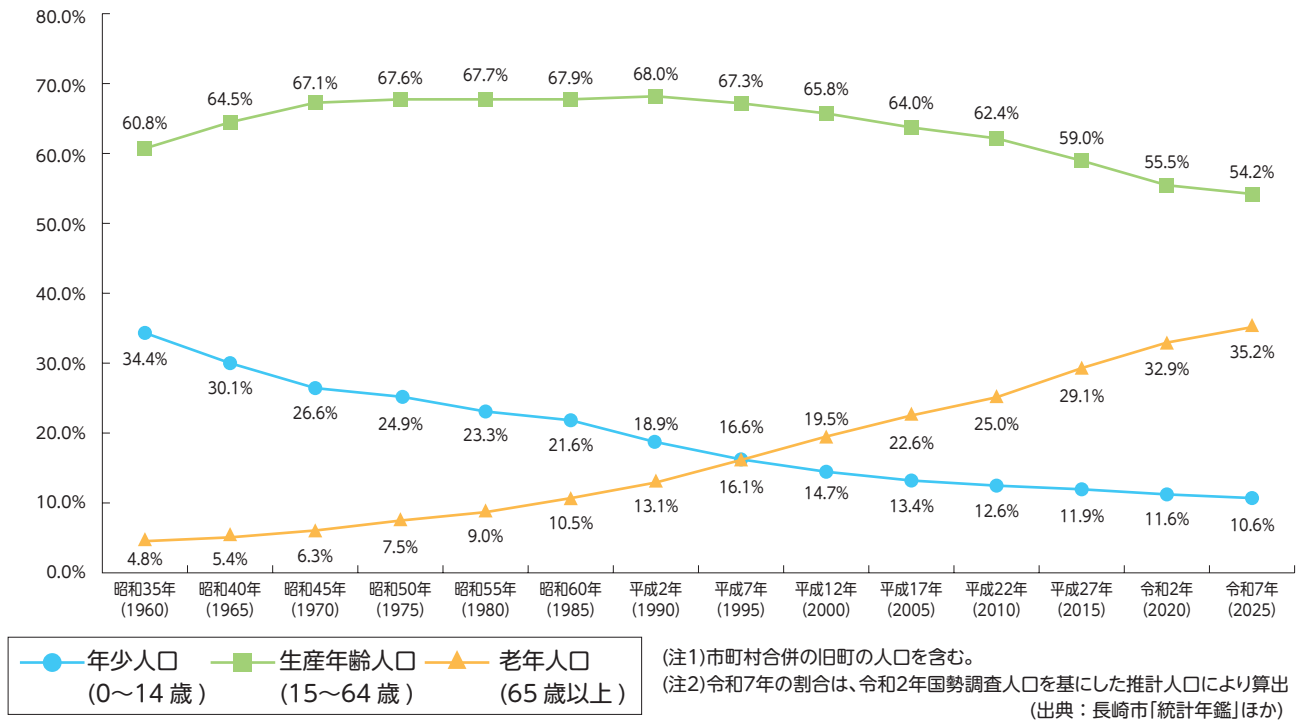


2 年齢3区分別人口の推移

- 年少人口割合と老年人口割合が平成7年頃を境に逆転しており、少子化と高齢化が同時に進展していることが分かる。
- また、「生産年齢人口」、「年少人口」の減少により「老年人口」の割合が増加し、人口が最も多かった昭和50年に7.5%だった「老年人口」の割合が、令和7年には35.2%にまで増加するなど、少子化及び高齢化が引き続き進行することが予想される。



図表2 年齢3区分別人口の推移